

今日は父の日です。私（新藤師）は3児の父ですが、服役経験のある元ヤクザで、3度の離婚も経験しています。そのような私がどのように神様と出会い変えられたか・・・今日はⅡサムエルのみことばを通し、また私自身の証を通して私たちがどう人生を歩むかをみていきましょう。

Ⅱサムエル6章でダビデがペリシテ人に奪われていた神の箱を取り戻しに行った時、新しい車に乗せて神の箱を運んだこと、その途上で乗せていた神の箱がひっくり返りそうになり、ウザという人が防ごうと神の箱に手をかけ死んでしまったことが記されています。この内容は一見どうして!?!と思われる箇所ですが、この頃は神様の本質が現れる厳しい時代。ダビデは出エジプト・レビ記にあるようにレビ人がみこしのようにして神の箱を運ばなくてはならないことを知らず、人間的に自分が楽なやり方を取ってしまったのです。これはダビデの失敗です。しかしダビデがダビデである所以、もう一度神の箱を迎えに行くときは違いました。ダビデはなぜ部下が死ななければいけなかったのかを聖書から学び調べ上げたのです。そしてレビ人を集め全てを備えて神の箱を迎えに行き、無事エルサレムに入れることができたのです。

これは私たちの人生にもいえることです。自分の方法で人生をやり直そうとすること、それは不確かなことです。見えない存在を否定した人生のやり直し、不確かな方法を選ぶのではなく、神様の確かな方法を選び取りましょう。また私たちは聖書中の人物から学ぶことができます。レビ人の起こり、ヤコブの息子であったレビはだまし討ちする男でした。しかし神様はレビを選びました。そしてレビの末裔にモーセとアロンが生まれました。アロンもモーセが十戒の板を取りに山に登っている間に偶像を作ってしまった。しかし神様はアロンを選びました。これこそ神様の赦しの力です。そしてこのことを通して私たち自身が赦された罪人だということを知ることができるのです。

ここで私自身の神様の方法について証します。私には3人の子供がいますが、皆小さい頃に別れました。その当時自分の人生に自分の方法すら無い状態でしたが、去年の夏、神様から奥さん不在の中、高校2年生の娘と中学2年生の弟と3人で1ヶ月を過ごす時を与えられました。子供たち2人は母親が違えど仲のいい姉弟です。以前は子供に会わせてもらうことさえ叶わなかったのに、今はそれが実現しています。なぜ子供たちと会うことができたのか？それは神様の方法を私がしたからです。それは「日々己を捨て、キリストの十字架を負ってキリストについていく」ことを選んだからです。日々己を捨てるとは自己主張を捨て神様の主張を第一として生きること、自分が赦された者としての歩みをしていくということです。そして十字架を負うとは自分は何ぞ召されて、なぜ救われて、何のために生きて、なぜここにいるのかということをしかりと受け止め神様に忠実になるということです。

出所するとき、ヤクザであった私を元奥さんは待ってくれませんでした。また、子供たちに会いたくて仕方なかったですが、それも許してはくれませんでした。そのような中であっても私は神様を第一にして日々己を捨てて歩みました。救われた者として一心不乱に働きました。土方の仕事をしながらメッセージの準備をすることもありました。そのような中、変化が起こりました。自分の姿をテレビや本を通して知った元奥さんが自分の生き方を認めてくれたのです。そして、親子3人で会う時が与えられたのです。この時に私は子供たちに一番大切なものを与えることができました。それは信仰です。去年5月に姉に、今年2月に弟に洗礼を捧げることができたのです。これが神様に従って私が行った神様の方法です。

私たちに必要なのは、自分の方法で無く神様の方法です。こんなダメな父親でも人生で一番大切な神様を伝え、洗礼まで導くことができたのです。

イエス様の十字架から過去、未来、現在、全てにおいて祝福を得ることができます。そしてあなたが神様に思い描いたことは実現するのです。どんなに大変な人生の中であっても聖霊の喜びがあります。人との出会いも神様の奇跡。神の御業です。神様の方法で、神様の計画を忠実に歩いていきましょう。主の祝福に感謝。（要約者：金光 瞳）